

# エリアウェーブ

**峡東教育事務所**  
**地域教育支援スタッフ**  
**TEL 0553-20-2731**  
**FAX 0553-20-2733**

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。 Email: [hirayama-atxj@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:hirayama-atxj@pref.yamanashi.lg.jp)

8月9日(木) 甲州市民文化会館において、峡東地区 保・幼・小・中連携セミナーを実施しました。講師の山梨大学大学院教授の谷口明子先生から「子どもの環境移行への支援」という演題で講演していただいた後、小グループに分かれ連携活動についてのワークショップを行い、充実したセミナーになりました。



## 「子どもの環境移行への支援」よりよい連携のために必要なこと

人生はライフサイクルであり、孔子の「論語」やエリクソンの8段階の発達段階説において、それぞれの段階で、クリアしなければならぬ発達段階があり、発達を「移行」と捉えることができる。

### 新しい環境に移る

小学校から中学校に上がる、学校を転校する、住まいが変わるなどといった**物理的環境の変化**。

新しい先生との出会いや新しい友だちとの出会いといった**対人的環境の変化**。ワクワクする刺激的なものであると同時に、相手がどんな人かわからない不安や転校生であれば、できあがった人間関係の中にぽつと入るため、自分が受け入れられるかという様々な心配や不安がある。

どのように振る舞うことがよしとされるのか環境それぞれがもっている暗黙のルールとなる**行動コードの変化**。勉強の仕方や人間関係のもち方、それぞれの学校やそれぞれの場においてルールがあり、ルールに沿った形でやらないとはじかれてしまったり、自分自身も違和感を感じたりする。

この3つの変化を経験することが**新しい環境に移る**ということである。

### 環境移行時の困難

**小1プロブレム**とは小学校入学直後の落ち着かない児童の現象で、幼児期の課題を持ち越したまま入学してきたのが原因といわれる。**中1ギャップ**とは 中学生活に溶け込めない現象。**高1ドロップ**とは高校に入学するが学校生活から撤退し中退してしまう現象のことである。

移行時の連携の必要性を理解しつつも、異校種の実践への無理解や物理的な交流の難しさ、実践のねらい・重点・方法の相違などといったことが、連携を阻んでいる。

連携とは同じ目的をもつものが互いに連絡をとり、協力し合って物事を行うこと(広辞苑第5版)で、**交流**(子ども間・教師間・保護者を含めた交流)や**接続**(移行時の情報の引き継ぎ・指導の継続)が、幼保小、小中の間で行われるようになった。

### よりよい連携のために(子どもの視点を理解する)

異年齢の子どもとの交流は、自分の成長をイメージし、これから行く学校を知ることができる。教師間交流は、異校種の指導観・子ども観の相互理解につながる。

接続=つなぎを重視し、子どもの何をつなぐのか、誰と誰をつなぐのか、どのような効果が見込めるかをもう一度洗い直し、単発でなく年間計画として組織化する必要がある。

人間関係や生活の中で「アンカーポイント(新しい環境を理解し、慣れていく拠点)を見つけられるようにという視点からの連携をしていくことが重要である。



〈谷口 明子 教授〉

《保・幼・小・中連携セミナー参加者の感想》

- ・やらなければならないこと、やっていて良かったことなど聞かせていただき、毎日の保育の課題がみつきり本当によかったです。
- ・保護者も含めて、地域として共通した考えをもち、取り組んでいくことが大切かと感じた。
- ・中1プロブレム、中学生が感じている不安について知ることができた。
- ・子どもたちが登るステップを、いかにしてなだらかに登りやすくするかということ意識していきたいと感じました。ただ、学校としての取り組みとして位置づけられないと、交流・連携はできないと思います。



セミナー参加者の様子

【 親プロ実践報告 】

6月23日(土)、笛吹市立石和西小において、「やまなし『親』学習プログラム」の授業を全校一斉に実施しました。

1～4年生は親対象、5・6年生は親子一緒に学習しました。

このプログラムは、学習に参加する対象者を、Ⅰ乳幼児をもつ親、Ⅱ小学校低学年をもつ親、Ⅲ小学校高学年をもつ親、Ⅳ中学生をもつ親、Ⅴ将来親になる中・高校生と分け、「こころ」「からだ」「コミュニケーション」「生活」「家族」の5つの領域から、子どもの年齢や思春期の発達段階に応じたテーマで構成されています。



2年生の保護者の様子



6年生の親子の様子



「絵本くらぶ」10周年記念



8月1日(水)、甲州市の甘草屋敷子ども図書館において、「夏休みSPECIAL キッズおはなし会」がありました。

読み聞かせグループ「絵本くらぶ」が、夏休み中の子どもたちを対象に活動10周年を記念して行いました。

子ども図書館には塩山南・西・北児童クラブの子どもたちをはじめたくさん子どもたちが集まりました。

大型絵本や昔遊びなどがあり、楽しいひと時を過ごしました。

**第19回笛吹警察所管内 中学生交通・防犯弁論大会**

**8月31日(笛吹市八代総合会館)**

防犯弁論の部			交通弁論の部		
最優秀	御坂中3年	渡邊しずか	最優秀	春日居中3年	望月珠奈
優秀	春日居中2年	岡 宏明	優秀	石和中2年	井上華奈
			特別賞	一宮中3年	小宮山 葵

## でっかい体験「やまなし少年海洋道中」

今年で25回目を迎えた、フロンティア アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」が、8月1日(水)より8泊9日間、八島で開催されました。50名の参加者のうち、峡東地域からは6名の中学生が普段の生活からは想像できない、素晴らしい体験をしてきました。子どもたちにとって、忘れられない夏になりました。



サバイバル踏破に向け シュプレヒコール

## 山梨県子どもクラブ親睦球技大会

8月11日(土)、甲府市緑が丘スポーツ公園・甲府北中学校において子どもクラブ親睦球技大会が開催されました。地区の予選を勝ち抜いた子どもたちがソフトボール、ミニソフトバレーボールに分かれ熱戦を繰り広げました。

### ソフトボールの部 <<6チーム>>

- 優勝 甲運子どもクラブ(甲府市)
- 準優勝 三富子どもクラブ(山梨市)
- 3位 御坂町二之宮子どもクラブ(笛吹市)  
リバー第3自治会(中央市)



### ミニソフトバレーボールの部<<14チーム>>

- 優勝 御坂町尾山子どもクラブ(笛吹市)
- 準優勝 石和町河内子どもクラブ(笛吹市)
- 3位 七日市場子どもクラブ(山梨市)  
中八幡子どもクラブ(甲斐市)

## 「異世代交流 パソコンに挑戦」 ことぶき観学院 東山梨学園 塩山高校

8月8日(水)、塩山高校において、ことぶき観学院 東山梨学園2年生と塩山高校の情報システム科の生徒との異世代交流としてパソコン教室が行われました。

初級・中級クラスに分かれ、パソコンの基礎やインターネットについて学びました。高校生が隣に座り、わからない所や操作方法を教えていました。初めは1対1の対応で少しぎこちなかった高校生も終わるころにはすっかり打ち解けて和気あいあいとした雰囲気でもとても良い交流になりました。ことぶき観学院生からは、「楽しく学習できた」「学生さんに丁寧に教えてもらいよかった」という感想がありました。



操作方法を説明する塩高生

## 日川高校SSH事業「サイエンスアカデミー」

9月15日(土)日川高校において、脳科学者の茂木健一郎博士による講演会が開催され在校生、保護者、地域の中学生、一般の方々が聴講しました。

「科学の恵み」—科学することで開かれる脳のよるこびーという演題で、ワクワクしたときに脳が分泌するというドーパミンを活かした学習法など脳科学の分野やこれからの科学について興味深い話を提供していただきました。

## 第54回全国社会教育研究大会 山梨大会開催のお知らせ

### 大会スローガン

「つどえ 富士の国やまなしへ 語ろう 日本の今 これから」

### 研究主題

地域の絆を深め 活力を生む新しい社会教育を創る

### 期日

10月24日(水)～26日(木)

### 会場

<<全体会>> 甲府市総合市民会館

<<分科会>> 甲府市総合市民会館・かいてらす・山梨県立文学館



山梨県立

# 笛吹高等学校

## ～ 3年目の決意～

石和・山梨園芸高校の統合により笛吹高校が誕生して3年が経過し、今年度は三学年が揃い、生徒数九百人の県下一の規模を誇る学校となりました。昨年度までは、石和高校、山梨園芸高校の先輩方の後ろを追いかけて、学園祭などの行事など、さまざまな面で私たちに指導していただきました。これからは素晴らしい2校の伝統を継承しながら、笛吹高校生として新たな歴史を刻んでいこうと思います。

下の写真は、今年度の学園祭の写真です



## ☆部活動の様子☆

笛吹高校は、29の部活と1つの同好会が活動しています。日々の厳しい練習に耐え、ソフトテニス部・ライフル射撃部・自転車部・すいれき太鼓部・植物研究部など、全国の舞台上で活躍している部活動も多数あります。7月に広島県で行われた、第50回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会では、エアライフル女子団体戦優勝という、歴史に残る輝かしい成績を残しました。このように多くの部活動が充実した活動が行えるのも、地域の方々が暖かく見守ってくださるおかげだと心より感謝しております。

これからも、地域の方々に愛され、応援していただける部活動をめざしていきます。皆様の応援よろしく願います。

### 運動部



全国総体出場に向けて頑張ります!!



全国総文祭出場に向けて頑張っています。



### 文化部